

ひときわ輝くパートナー

「おらほのりんご」でさ行く編



波飛沫を上げるアンドン



サイドバンパーにマーカーが並ぶ



3連ロケットテールが渋い!



荷台天井にLED



三栄急送(株)が広島に向けてJA相馬村を出発!



飛馬りんごが丁寧に積み込まれる



山麓で作られる飛馬りんご「トキ」



早生ふじ[昂林]

中生種のりんごが収穫期を迎えたJA相馬村管内。気温も下がってきたことでりんごがより一層色付き始めた今日この頃。また、昼夜の寒暖差によって実が引き締まり、糖度の高い美味しいりんごが収穫されている。

今回、当JAフルーツステーションから出荷されたのは、早生ふじ(昂林)とトキ400ケース。甘味の強さが自慢の昂林は、蜜が入るものもあり、人気のふじによく似た味わいだ。一方、トキは王林とふじの交配で誕生した、青森生まれの品種。酸味は弱く、コクのある爽やかな甘味とシャキシャキとした食感が好評だ。行先は広島県で、三栄急送(株)のプロドライバーが片道約22時間掛けて運ぶ。りんごは少しの衝撃でも押しキズが付きやすいことから、いつも丁寧な積み込みを意識しているとドライバーは話す。

日本列島最北の青森から、南の広島にかけて今日も安心安全に飛馬りんごが届けられた。



魅力

Part 2



農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

りんごのもり

2018.10 Vol.435

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年10月15日

JA 相馬村概況

〈平成 30 年 9 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	363 人
出資金	630,620 千円
貯金額	9,233,831 千円
共済保有高	3,481,920 万円